

価格.com

2009年10月8日
株式会社カクコム

第34回価格.comリサーチ『Windows 7 発売直前アンケート！』結果
発売直前の Windows 7、Vista に対する不満解消を望む声多く
購入理由の6割が「パフォーマンス向上に期待」
乗り換え予定の4人に1人が搭載PC購入を検討、PC市場の活性化にも期待

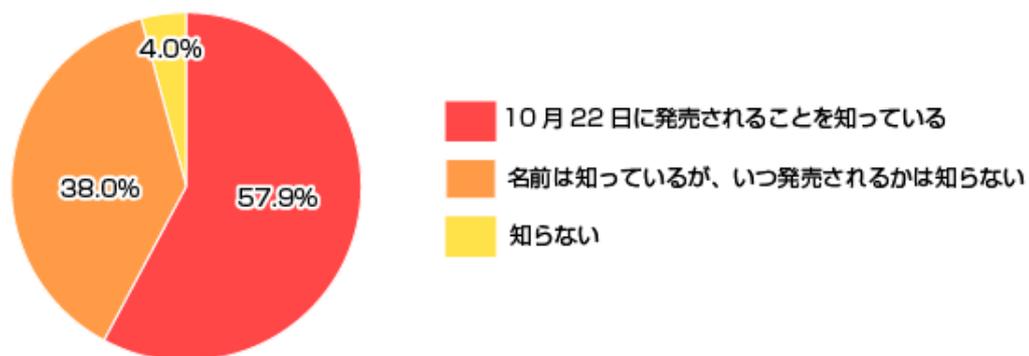
株式会社カクコムが運営する購買支援サイト「価格.com (<http://kakaku.com/>)」が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第34回調査『Windows 7 発売直前アンケート！—あなたは買う？買わない？—』から、結果を一部抜粋の上、ご案内します。10月22日に発売される新OS「Windows 7」。Windows Vistaで数多く指摘されていたパフォーマンス面での改善がなされていることもあり、期待度は比較的高いといわれているWindows 7に関して、ユーザーの購入意向や期待する点、購入方法などを調査しました。

詳細結果：<http://kakaku.com/research/backnumber034.html>

「Windows 7を知っている」：96.0% 発売日を知っていた人は57.9%

Windows 7について知っているとした回答者は96.0%。ほとんどが次期OSであるWindows 7の存在を知っていたようだが、実際に10月22日に発売されると知っていた人は57.9%で、38.0%の人は発売日については知らなかったようだ。これについては、マイクロソフトがWindows 7について、その詳細を最近になるまで明らかにしてこなかったことが大きな要因となっているものと考えられる。

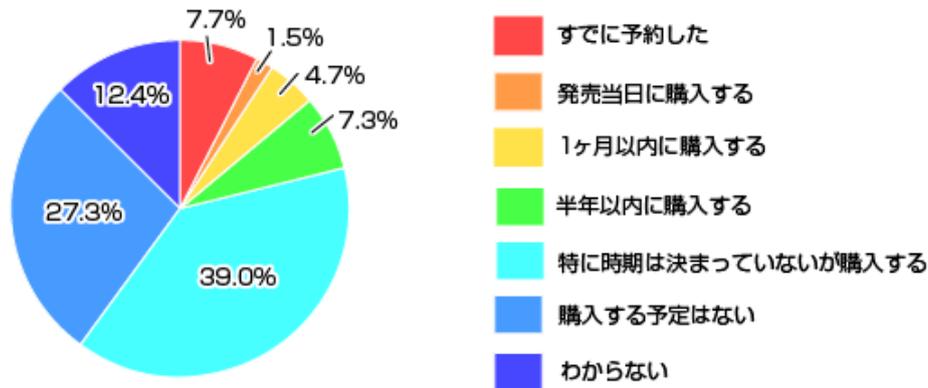
【図1. あなたはWindows 7のことをご存知でしたか？】



6割が購入を予定、そのうち半数以上が「時期は未定」

Windows 7を「購入する」と回答した人は全体の60.3%。この数字を高いと見るか低いと見るかは難しいところだが、前OSのWindows Vistaが発売された時期と比べると、Windows 7への期待度は高いように考えられる。なお、半年以内の比較的近いうちに購入するとした回答者は全体の21.3%ほどでそこまで多くはなく、「購入する予定だが時期は未定」とする人が、全体の39.0%にのぼった。Windows 7の評判などはさまざまなメディアなどで報じられているので、ある程度期待はしているものの、実際の購入については様子を見ながら、というようなスタンスの回答者がかなり多いようでフリーアンサーでも、「OSが安定してきた頃を狙って」というような回答が多く見られた。

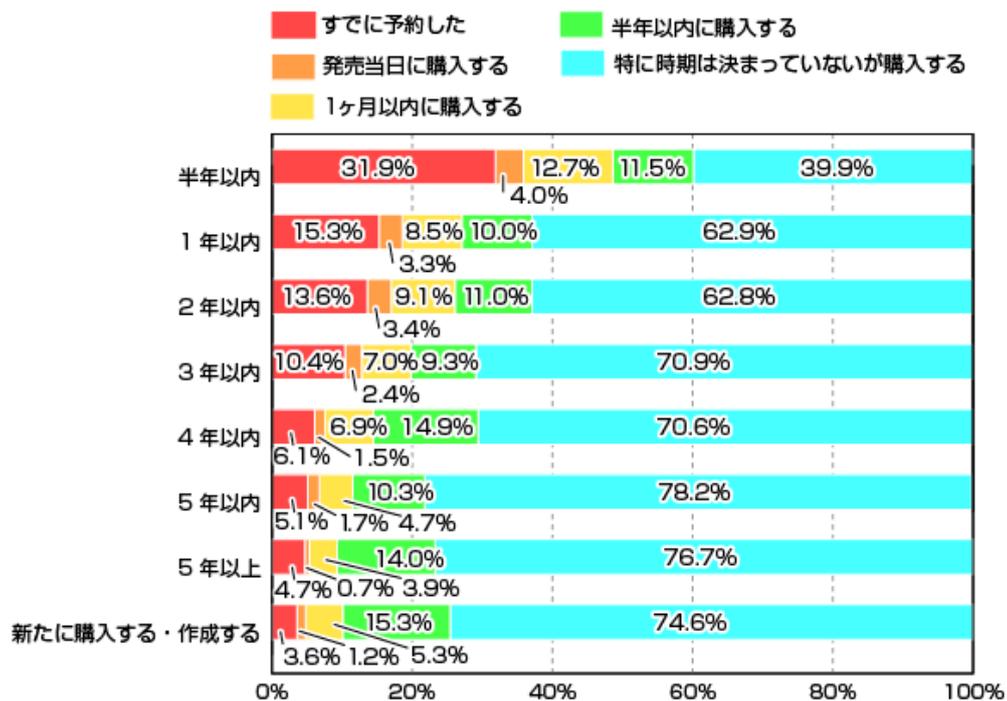
【図 2. Windows 7 が発売されたら購入する予定はありますか？】



パソコンの購入時期が新しいほど、Windows 7 への移行意欲が強い

図 2 の結果を、現在使用しているパソコンの購入時期ごとに集計したのが、図 3 のグラフだ。これを見ると、パソコンの購入時期が新しいほど、Windows 7 への移行意欲が強いことがわかる。なお、この半年以内にパソコンを購入した人の「すでに予約した」の割合が高いのは、この夏以降に購入したパソコンに、メーカーによる優待アップグレードサービスがついていることが大きい。また、最新のパソコンほど、Windows 7 に移行した場合のスペック面での不安が少ないということもあるだろう。逆に、パソコンの購入時期が古くなればなるほど、Windows 7 の移行意欲は低くなっていき、「時期は決まっていないがいつかは購入する」という割合が高くなる。現状のパソコンや OS でも特に不便を感じていないというのが大きな理由と考えられるが、3 年以上前に購入した Windows XP 搭載パソコンの利用者ほど、こうした傾向が高くなっていることがわかる。

【図 3. Windows 7 が発売されたら購入する予定はありますか？】
(Windows 7 を利用する予定のパソコンの購入時期別の集計)

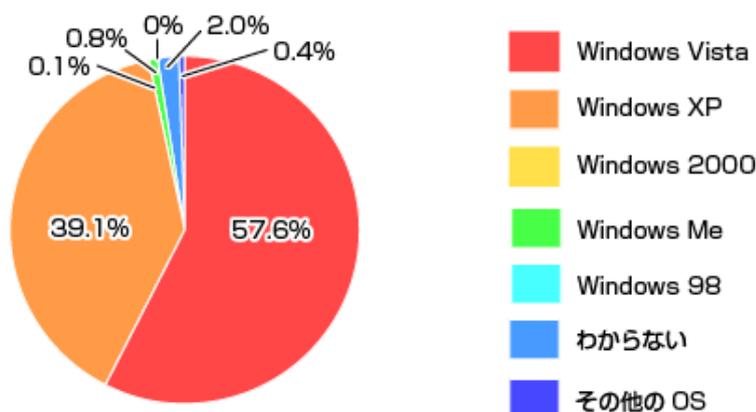


Windows Vista からの乗り換えが 57.6%、次いで Windows XP が 39.1% Windows Vista に対するパフォーマンス面の不満が理由か

Windows 7 を購入すると回答した人に、現在の OS 使用状況を聞いた。Windows7 への移行予定があるユーザーの使用 OS でもっとも多かったのは、前 OS である「Windows Vista」で 57.6%。次いで「Windows XP」の 39.1%となり、この 2 つで 96.7%を占めた。

Windows 7 は、Windows Vista と基本的な機能やインターフェイスが同一であるため、発売当初は Windows Vista からの乗り換えは実はそれほど多くなく、むしろ正式サポートが終了してしまった Windows XP からの乗り換えが多いのではないかと予想していたが、意外に、ここ数年で発売されたパソコンに導入されている Windows Vista からの乗り換えが多いという結果になった。それだけ、現状の Windows Vista に対するパフォーマンス面での不満度が高いということなのかもしれない。フリーアンサーでも、Windows Vista への不満を答えるユーザーは相当数に上り、「Windows Vista の不満点が解消されているから」などを、乗り換え理由としてあげる人は多かった。

【図 4. すでに所有されているパソコンで Windows 7 を利用される方にお聞きします。
現在の OS はどれですか？】



購入理由 : 「パフォーマンス面での向上に期待」が 63.2%で 1 位

Windows 7 を購入する理由として圧倒的に多かったのは「パフォーマンス面での向上が期待できる」で、全体の 63.2%となった。Windows 7 は、Windows Vista に比べて起動やシャットダウンなどの時間が短くなっており、全体のパフォーマンスも向上している。こうした点に期待する人がかなり多いという結果だ。

次いで多かったのは、「Windows 7 でしか使えない新機能・インターフェイスを使いたい」(28.6%)というものと、「常に最新の OS を使いたい」(27.1%)というものだった。Windows 7 には、独自の新機能やアプリなどはあまり用意されていない。しかし、それでも、こうした新機能や新インターフェイスに期待する回答者は意外に多いようだ。「新しいパソコンを買おうと思っていた」も 21.5%となり、この OS の発売をきっかけに新しいパソコンを購入する人もかなりの数にのぼりそうである。

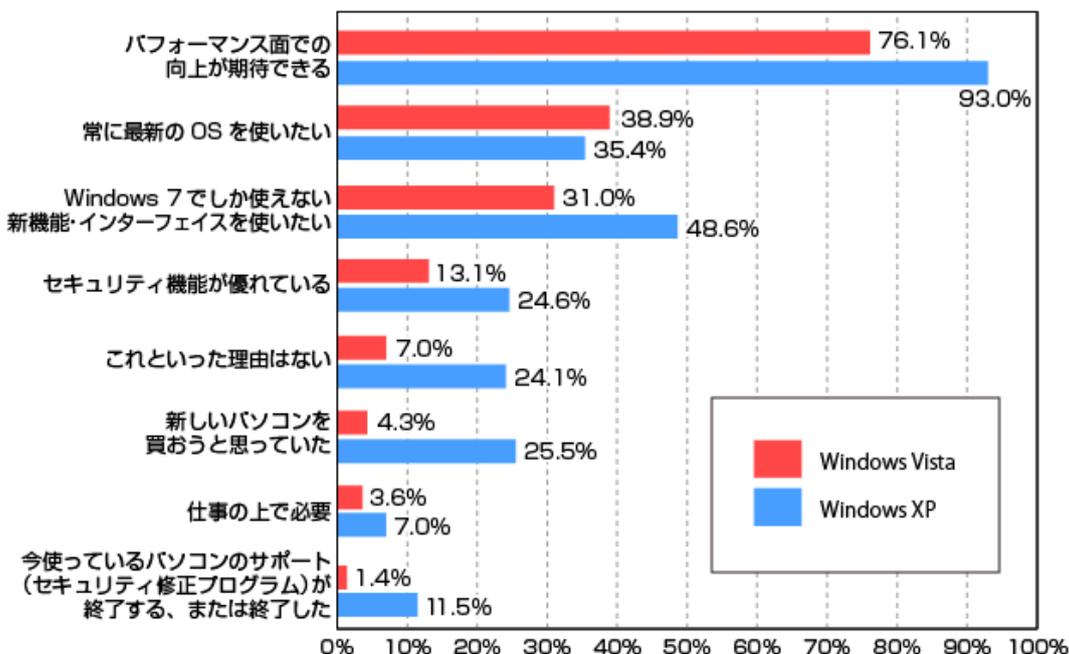
【Windows 7 を購入する理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください】(複数回答)
詳細グラフは右記 URL でご確認ください <http://kakaku.com/research/backnumber034.html>

期待度が高いのは Windows XP ユーザー 「Windows XP 互換モード」の存在が大きく影響？

購入する理由を、現在所有しているパソコンの OS 別で集計すると、面白い結果が見えてきた。全体的に、Windows XP ユーザーのほうが、Windows 7 への期待度が高いのだ。特に「パフォーマンス面での向上が期待できる」という項目で、Windows Vista ユーザーを上回っているのは印象的だ。これまで Windows XP から Windows Vista への乗り換えが進まなかった理由の 1 つに「パフォーマンス面の不満」があったと考えられているが、それが Windows 7 では改良されるという点で、高い評価を与えていることがわかる。また、「Windows7 でしか使えない新機能を使いたい」という項目では、Windows

Vistaには搭載されなかった「Windows XP 互換モード」の存在が大きく影響しているものと考えられる。パフォーマンスと互換性の面で、Windows 7は、Windows XPユーザーからも一定の評価を得ていることがわかる結果だ。

【図 5. Windows 7 を購入する理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください】(複数回答)
(所有しているパソコンの OS 別の集計)



購入方法：「アップグレード版を購入」が 30.6% で 1 位

「Windows 7 搭載パソコンを購入」が 24.7%、パソコンの価格下落も影響

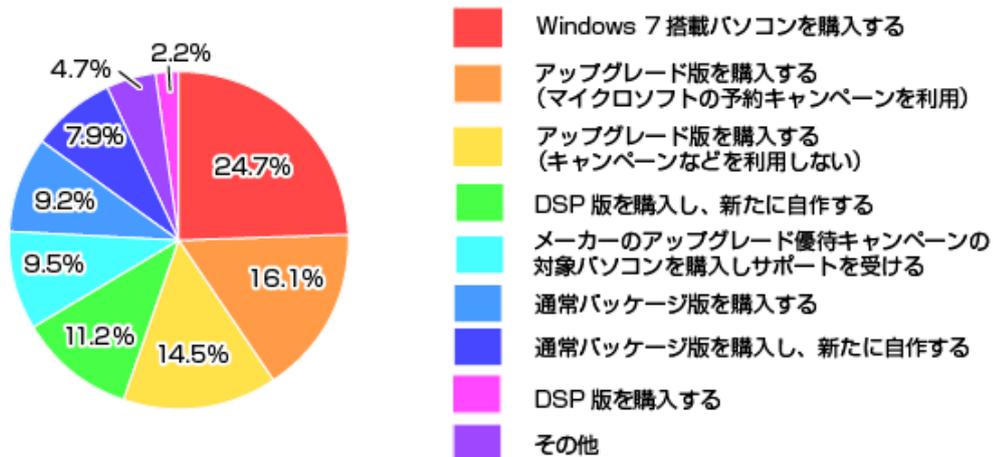
Windows 7 の購入方法でもっとも多かったのは、「アップグレード版を購入する」で、「予約キャンペーンあり」、「予約キャンペーンなし」の両方を合算して 30.6% にのぼった。次いで、「Windows 7 搭載パソコンを購入する」が 24.7% で次点につけている。

Windows 7 は、Windows Vista からのアップグレードが行えるので、現状 Windows Vista を使っているユーザーがそのままアップグレード版を購入するというのは自然な流れと考えられるが、「新規にパソコンを購入する」というユーザーが意外に多いことに注目したい。「メーカーのアップグレード優待キャンペーンの対象パソコンを購入する」という回答も 9.5% あり、Windows 7 の登場を機会に、パソコン自体を買い換えるユーザーもそここの数にのぼりそうだ。

と言うのも、Windows 7 は、Windows XP からのアップグレードが行えないため、現在 Windows XP を使っているユーザーは、Windows 7 のパッケージ版を購入するか、新規にパソコンを買い換えるかのどちらかを選択する必要がある。しかし、Windows XP 搭載パソコンは、一部のネットブックなどを除いてすべて 3 年以上前に発売されたもので、ハードウェアなどの設計がすでに古くなってしまっているため、Windows 7 にアップグレードしても、ストレスなく動作させるにはスペック面で不安がある。こうしたことが、パソコン買い換えを選択する大きな理由としてあげられるだろう。以前に比べてパソコン本体の価格が大幅に下落していることもあり、2 万円以上する Windows 7 のパッケージを購入するより、10 万円程度で購入できるパソコンごと購入したほうがメリットは高いと考える消費者も多いかもしれない。

※このアンケート内のマイクロソフトの予約キャンペーンとは、6 月 26 日～7 月 5 日に実施された「Windows ありがとう」キャンペーンを指しています。

【図 6. Windows 7 をどのように購入しますか？】



【所有しているパソコンで Windows 7 を利用する人の購入方法 (所有パソコンの OS 別)】

【Windows 7 を購入する方法 (Windows 7 を利用する予定のパソコンの購入時期別)】

詳細グラフは右記 URL でご確認ください <http://kakaku.com/research/backnumber034.html>

【調査パネルについて】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

回答者数：10,715 人 男女比率：男 91.5%：女 8.5%

調査期間：2009 年 9 月 17 日 (木) ～2009 年 9 月 24 日 (木)

調査実施機関：株式会社カカコム

■総評 (抜粋) 鎌田剛 カカコム メディアクリエイティブ部 部長

「Windows Vista への不満が高めた、Windows 7 への期待」

～一部抜粋～

Windows 7 への期待は、裏を返せば「Windows Vista への不満」がもたらしたものであるという印象が非常に強い。実際、現状の Windows Vista ユーザーの多くが、特にパフォーマンス面での不満を強く持っており、マイナーバージョンアップともいえる Windows 7 にも、ほぼパフォーマンス面の改善のみを目的として乗り換えるという回答が多かった。すでにサポートが終了してしまった Windows XP ユーザーも、さまざまな問題が指摘されていた Windows Vista を飛び越えて Windows 7 へ乗り換えようという動きが見て取れる。Windows Vista で問題視されていたパフォーマンス面の改善や、新たに搭載された「Windows XP 互換モード」などが特に評価されているポイントだ。このように、Windows 7 は、Vista ユーザーと XP ユーザー両方にとって、「Vista に対する不満を解消したバージョン」として、期待されているという状況のようだ。

いずれにしても、今ひとつ人気のなかった Windows Vista に変わる新 OS である Windows 7 の登場は、最近活気がないパソコン業界にとって大いに歓迎すべき一大イベントであることは間違いない。ユーザー側の期待度も比較的高く、パソコンの買い換えも検討しているユーザーが 25% 近くにのぼっていることを考えても、今年の年末商戦から来年の春商戦にかけては、Windows 7 をからめたパソコン市場に盛り上がり期待したいところだ。

※詳細結果、総評全文および過去のリサーチアーカイブは以下 URL をご参照ください

<http://kakaku.com/research/>

【価格.com データ】(2009 年 9 月末現在)

月間利用者約 1,998 万人、月間ページビュー約 7 億 2,627 万 PV、累計クチコミ件数約 1,000 万件

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報担当 内山 甲斐 e-mail: pr@kakaku.com Tel:03-5805-7511